

| | | | | | | | |
|---|--|-----|------|---|--|------|---------------|
| 科目ナンバー | C3101 | 要件 | 学則必修 | 授業形態 | 講義 | 対象学生 | I A B |
| 授業科目 | 保育原理 | | | | | | |
| 実施期 | 前期 | 単位数 | 2単位 | 授業担当者 | 高岡 昌子 | | |
| 【科目の概要】 保育実践を支える基本的な原理について学ぶ。具体的には、保育の意義や目的、保育思想・制度の歴史、保育の制度と現状、保育内容の構成について学び、保育の形態や保育の実践における指導・援助の在り方、子ども理解の深め方、保育課程と教育課程、指導計画や記録の意味と内容、そして保育の評価などに関する基本的内容を学び、フィードバックを通して学びを深め、さらに現代の保育における課題や望ましい保育・教育について考える。 | | | | | | | |
| 【この科目を通して獲得を目指す力】 | | | | | | | 【関連DP】 |
| ア | 保育の意義や目的、保育思想・制度の歴史、保育内容の構成など、保育実践を支えるための基本的な内容を理解して、保育原理における基本的知識を身に付けている。 | | | | | | 1-c 1-e |
| イ | 保育の形態や保育の実践における指導・援助の在り方、子ども理解の深め方、保育課程と教育課程、指導計画や記録の意味と内容を学び、実践力につながる基本的知識を身に付けている。 | | | | | | 1-c 2-c |
| ウ | 保育ニーズの多様化や保育所・幼稚園・認定こども園等そして地域社会全体との連携の必要性など、現代の保育における課題について考えることができる。 | | | | | | 3-a 3-b |
| エ | 現代の保育における問題や課題について関心を持ち、望ましい保育・教育について考えていくことの必要性を感じて意欲的に取り組もうとしている。 | | | | | | 4-c |
| 【授業の内容】 | | | | 【実施日】 | 【授業時間外学習の内容】 | | |
| 1 | 「保育」・「保育原理」とは何か 「保育原理」を学ぶ意義について | | | 月 日 | シラバスを熟読しておく。 | | |
| 2 | 保育の課題、保育者に必要な専門性について学ぶ。 | | | 月 日 | 保育の課題、保育者に必要な専門性に関する理解を深める。(1時間) | | |
| 3 | 保育・教育に関する法律や保育所保育指針と幼稚園教育要領そして幼保連携型認定こども園 教育・保育要領について学ぶ。 | | | 月 日 | 教科書を読み、保育に関する法律の名称と主な内容を覚える。(1時間) | | |
| 4 | 保育所保育指針における「保育の原理」について学ぶ。 | | | 月 日 | 教科書を読み、保育の原理に関する理解を深める。(1時間) | | |
| 5 | 保育の場の種類について学び、多様な保育ニーズについて理解する。保育所・幼稚園・認定こども園の違いを理解しているかを確認して、フィードバックを行い、学びに活かす。 | | | 月 日 | いろいろな保育の場の名称を覚え、多様な保育ニーズを知る。(1時間) | | |
| 6 | 西洋における保育の思想とその歴史そして現代の保育 | | | 月 日 | 西洋における保育の歴史において重要な人物と主な功績を覚える。(1時間) | | |
| 7 | 日本における保育の思想とその歴史そして現代の保育 | | | 月 日 | 日本における保育の歴史において重要な人物と主な功績を覚える。(1時間) | | |
| 8 | 幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園 教育・保育要領に学ぶ保育(獲得を目指す力の確認) | | | 月 日 | 幼稚園教育要領と保育所保育指針そして幼保連携型認定こども園 教育・保育要領の共通点と相違点を認識する。(1時間) | | |
| 9 | 子どもを理解するための方法を学び、望ましい保育観について考える。 | | | 月 日 | 教科書を読み、望ましい保育観について考える。(1時間) | | |
| 10 | 保育所・幼稚園・認定こども園における保育の内容の基礎を学ぶ。 | | | 月 日 | 教科書を読み、保育の内容に関する理解を深める。(1時間) | | |
| 11 | 保育課程・教育課程・指導計画の意義を学ぶ。 | | | 月 日 | 保育課程・教育課程・指導計画について理解を深める。(1時間) | | |
| 12 | 指導計画の作成と展開における留意事項を学び、保育における評価と省察の重要性を学ぶ。 | | | 月 日 | 指導計画の作成と展開における留意事項について把握しておく。(1時間) | | |
| 13 | 子どもの最善の利益と保育について考え、子どもの健康と安全への配慮について考える。 | | | 月 日 | 子どもの健康と安全への配慮方法を覚え、子育てに関わる社会問題を調べる。(2時間) | | |
| 14 | 子育て家庭に関わる社会問題について発表し合い、多様化する保育ニーズと子育て家庭支援について考えを深める。 | | | 月 日 | 多様化する保育ニーズへの対応としての施策や事業を覚える。(1時間) | | |
| 15 | 保育者の在り方や様々な連携の必要性、保育の今後の課題を考える。まとめと自らの学びの程度を把握できるようにフィードバックを行い、学びに活かす。 | | | 月 日 | 保育原理で学んだ内容をまとめ、要点を覚える。自らの学びを省察する。(2時間) | | |
| 16 | まとめと自らの学びの程度そして今後の課題を把握する。 | | | 月 日 | 試験でできなかったところを振り返る。(2時間) | | |
| 【教科書・テキスト】 『新・保育原理 ーすばらしき保育の世界へー 第3版』 三宅茂夫編 株式会社みらい | | | | 【成績評価の方法】 出席… 30%、授業態度… 20% 試験・レポート… 50% | | | |
| 【参考書・教材】 「保育所保育指針解説書」 厚生労働省(著) 出版社: フレーベル館 「幼稚園教育要領解説」 文部科学省(著) 出版社: フレーベル館 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」 内閣府・文部科学省・厚生労働省(著) 出版社: フレーベル館 ※ その他の参考書については授業で随時紹介する。必要に応じて資料プリントを配付する。 | | | | | | | |
| 【履修要件及び履修上の注意事項】 授業には教科書や配付された資料プリントなど全て毎回持参し、いつ提出を求められても提出できるようにしておくこと。欠席をした場合は、自分から積極的に欠席分を補うように行動すること。 | | | | | | | |
| 【履修上の遵守事項】 15分以上の遅刻は欠席とみなす。また、遅刻3回で欠席1回とみなす。 | | | | | | | |
| 【連絡先・オフィスアワー】 | | | | | | | |

連絡先： taka@narabunka.ac.jp

オフィスアワー：

| ＜チェックシート＞ | | | | | |
|--------------------------------|--|--|--|--|--|
| 指標 | | 基準 | レベル1 | レベル2 | レベル3 |
| ア① | 保育の意義や目的、保育思想・制度の歴史についての基本的知識 | 保育の意義や目的、保育思想・制度の歴史についての基本的知識 | 保育の意義や目的、保育思想・制度の歴史についての基本的知識を知っている。 | 保育の意義や目的、保育思想・制度の歴史についての基本的知識を身に付けている。 | 保育の意義や目的、保育思想・制度の歴史について説明できる。 |
| ア② | 保育の内容は「ねらい」及び「内容」で構成されること等、保育実践を支えるための基本的な内容の理解、保育原理における基本的知識の習得 | 保育の内容は「ねらい」及び「内容」で構成されること等、保育実践を支えるための基本的な内容の理解、保育原理における基本的知識の習得 | 保育の内容の構成など、保育実践を支えるための基本的な内容を理解して、保育原理における基本的知識を知っている。 | 保育の内容は「ねらい」及び「内容」で構成されることなど、保育実践を支えるための基本的な知識を身に付けている。 | 保育実践を支えるための保育内容などの基本的知識を説明できる。 |
| イ① | 設定保育・自由保育・年齢別保育・縦割り保育等、保育の形態や実践の在り方、子ども理解の深め方についての学習、実践力につながる基礎的知識 | 設定保育・自由保育・年齢別保育・縦割り保育等、保育の形態や実践の在り方、子ども理解の深め方についての学習、実践力につながる基礎的知識 | 保育の形態や保育の実践における指導・援助の在り方、子ども理解の深め方について学び、実践力につながる基本を知っている。 | 設定保育・自由保育・年齢別保育・縦割り保育などの保育の形態や保育の方法等の実践力につながる基本的知識について説明できる。 | 子どもと関わる方法や保育の方法等に関する基本的知識を身に付けている。 |
| イ② | 保育における記録や、保育課程・教育課程・指導計画についての基礎的知識 | 保育における記録や、保育課程・教育課程・指導計画についての基礎的知識 | 保育課程と教育課程、指導計画や記録の意味と内容を学び、実践力につながる基本を知っている。 | 保育課程と教育課程の意義、指導計画や記録に関する留意点などの基本的知識を説明できる。 | 保育課程と教育課程、指導計画や記録を書いていくための基本を身に付けている。 |
| ウ① | 現在における保育ニーズの多様化や地域社会全体との連携の重要性についての考察力 | 現在における保育ニーズの多様化や地域社会全体との連携の重要性についての考察力 | 保育ニーズの多様化や保育所・幼稚園等そして地域社会全体との連携の必要性について知っている。 | 保育ニーズの多様化や保育所・幼稚園等そして地域社会全体との連携の必要性について理解している。 | 現代の保育に関わる問題について深く考え、連携の必要性について説明できる。 |
| ウ② | 現代の保育における課題についての多角的な思考力 | 現代の保育における課題についての多角的な思考力 | 現代の保育における課題について知っている。 | 現代の保育における課題について考えることができる。 | 現代の保育における課題について多角的に考え、説明できる。 |
| エ① | 現代の保育における問題や課題についての主体的な理解と説明力 | 現代の保育における問題や課題についての主体的な理解と説明力 | 現代の保育における問題や課題について学ぼうとしている。 | 現代の保育における問題や課題について主体的に興味・関心をもっている。 | 現代の保育における問題や課題について自ら意欲的に説明できる。 |
| エ② | 望ましい保育・教育について考えようとする態度 | 望ましい保育・教育について考えようとする態度 | 望ましい保育・教育について考えていくことの必要性を感じている。 | 望ましい保育・教育について自ら考えていこうとしている。 | 望ましい保育・教育について積極的に考えて、意欲的に議論していこうとしている。 |
| この科目を通して学んだこと、獲得できた力、できなかった課題等 | | | | | |